

水防活動に活躍した8水防団（消防団）が 平成24年防災功労者内閣総理大臣表彰を受賞

去る9月10日、平成24年防災功労者内閣総理大臣表彰式が執り行われました。今年は東日本大震災関係で例年より多く、全体で4個人、141団体が受賞されました。

水防関係では、8団体が豪雨災害等に対する水防活動に著しい功績があったとして表彰されました。

受賞団体（国土交通省水防関係）

- 平成22年7月、8月豪雨における消防団の災害出動
青木村消防団（長野県）
飯田市消防団（長野県）
岩手町消防団（岩手県）
上田市消防団（長野県）
- 平成23年新潟・福島豪雨における消防団の災害出動
三条市消防団（新潟県）
十日町市消防団（新潟県）
魚沼市消防団（新潟県）
- 平成23年台風第12号における消防団の災害出動
熊野市消防団（三重県）



平成24年9月10日 グランドアーク半蔵門にて



平成24年10月

国土交通省 水管理・国土保全局

受賞団体の活動概要

団体名	災害名	活動時間	出動延人数	主な水防活動内容等
青木村消防団	平成22年7月2日 梅雨前線豪雨	7/2~4 28時間 (夜6時間)	290人	土のう積み 8箇所(約800袋) 内水排除 13台 シート張り工 避難誘導
飯田市消防団	平成22年7月14日~ 16日梅雨前線豪雨	7/14~16 43時間 (夜20時間)	190人	土のう積み 6箇所(約140袋) シート張り工 警戒巡視 汚泥排水処理 避難誘導
岩手町消防団	平成22年7月17日 集中豪雨	7/17~18 9時間 (夜9時間)	143人	土のう積み 9箇所(約1,200袋) 内水排除 2台 人命救助 2名 避難誘導
上田市消防団	平成22年8月2日 集中豪雨	8/2~3 8時間 (夜8時間)	557人	土のう積み 21箇所 内水排除 50箇所 土砂撤去 12箇所 車両救出 1台 倒木撤去 1箇所
三条市消防団	平成23年7月 新潟・福島豪雨	7/28~30 53時間 (夜24時間)	2,161人	土のう積み 約22,000袋 シート張り工 12枚 釜段工 1箇所 月の輪工 7箇所 人命救助 5名 避難誘導
十日町市消防団	平成23年7月 新潟・福島豪雨	7/27~8/2 80時間 (夜36時間)	2,003人	土のう積み 約2,000袋 排水作業 避難誘導 443名
魚沼市消防団	平成23年7月 新潟・福島豪雨	7/28~30 33時間 (夜12時間)	1,114人	土のう積み 約550袋 内水排除 42台 人命救助 4名 避難誘導 1,703名 交通誘導 37箇所
熊野市消防団	平成23年 台風第12号	8/31~9/6 81時間 (夜35時間)	727人	土のう積み 約1,000袋 内水排除 3台 ボート救助 6名 避難誘導 200名

三条市消防団の事例

〈功績概要〉

三条市消防団は、平成23年7月27~30日に新潟県を襲った集中豪雨に際し、3日間にわたり、延べ2,161人が出動し、降り続く豪雨により堤防越水が起こる極めて危険な状況の下、20,000袋を超える土のう積みなど昼夜にわたり水防活動を行うとともに、住民の避難誘導、人命救助活動を行い、平素の水防意識の高揚と相まって、被害の軽減に多大な貢献をしました。

40万人避難指示・勧告



五十嵐川での水防活動状況

防災功労者内閣総理大臣表彰

『「防災の日」及び「防災週間」について』(昭和57年5月11日閣議了解)に基づき、災害時における人命救助や被害の拡大防止等の防災活動の実施、平時における防災思想の普及又は防災体制の整備の面で貢献し、特にその功績が顕著であると認められる団体又は個人を対象として表彰するものです。

水防関係については、基本的に水防功労者国土交通大臣表彰受賞者から推薦を行っています。



記念パーティーの様子

左から、関水管理・国土保全局長(当時)、和田団長(上田市)、羽田国土交通大臣、清水団長(飯田市)、佐藤団長(青木村)

【問い合わせ先】

国土交通省 水管理・国土保全局 河川環境課 水防企画室
TEL 03-5253-8460